



2026年1～3月期 景況調査 業況判断△5.6ポイント。4期ぶり悪化

長岡市は、エネルギー・物価高騰などによる地域経済への影響を把握し、必要な対策につなげていくため、長岡商工会議所と共同で、市内事業者を対象に景況調査を実施しました。

このたび、賃金改定、社員の採用、DX、原油高の影響など、2026年1～3月期の調査結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせします。

長岡市景況調査結果

1 長岡市景況調査（2026年1～3月期）

期 間：4月6日(月)～30日(木)

回収率：47.0%（235社／500社）

2 結果（概要。詳細は、別紙「長岡市景況調査報告書」参照）

①景気動向に関する調査

- ・景況感を示す2026年1～3月期の全体の業況判断D I（「良い」－「悪い」）は、△5.6と前期比△2.0ポイント悪化した。
- ・業種別では、商業（卸売業・小売業・サービス業）で前期比+0.1ポイント改善したが、建設業で同△1.4ポイント、製造業で同△7.2ポイントともに悪化している。
- ・売上高D Iは、全体で+1.7と前期比+4.7ポイントと4期連続で改善した。業種別では、小売業と建設業で改善した一方、製造業、卸売業、サービス業で悪化した。
- ・雇用D Iは22期連続で「不足」が「余剰」を上回る。

②賃金改定に関する調査

- ・2026年4月の賃金改定状況を尋ねたところ、全体では「引き上げる」が52.6%、「改定しない」が47.4%。「引き下げる」の回答は無かった。

③社員の採用に関する調査

- ・2025年度の採用実績（2025年4月～2026年3月入社）を尋ねたところ（複数回答）、全体では「正社員を中途採用した」が40.4%と最も高く、「正社員を新卒採用した」が19.6%、「非正規社員を採用した」が15.2%。

④DXに関する調査

- ・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の理解度を尋ねたところ、全体では「DXの意味を理解している」が62.4%、「DXの言葉は知っているが、意味を理解していない」が28.2%、「DXの言葉を知らない」が9.4%。

⑤原油高等の影響に関する調査

- ・原油の価格高騰や供給不安に伴う事業活動への影響を尋ねたところ、全体では「現時点で悪い影響がある」が37.9%、「今後悪い影響が出る見込み」が43.8%、「わからない・どちらとも言えない」が17.0%、「影響はない・影響が出る見込みはない」が1.3%。
- ・具体的な影響を尋ねたところ、全体では「仕入価格の上昇（石油由来原材料等）」85.9%と最も高く、「燃料費・電気料金の上昇」63.0%、「仕入調達の遅れ・不安定化」57.8%。

問い合わせ：産業支援課 早川
TEL 0258-39-2222